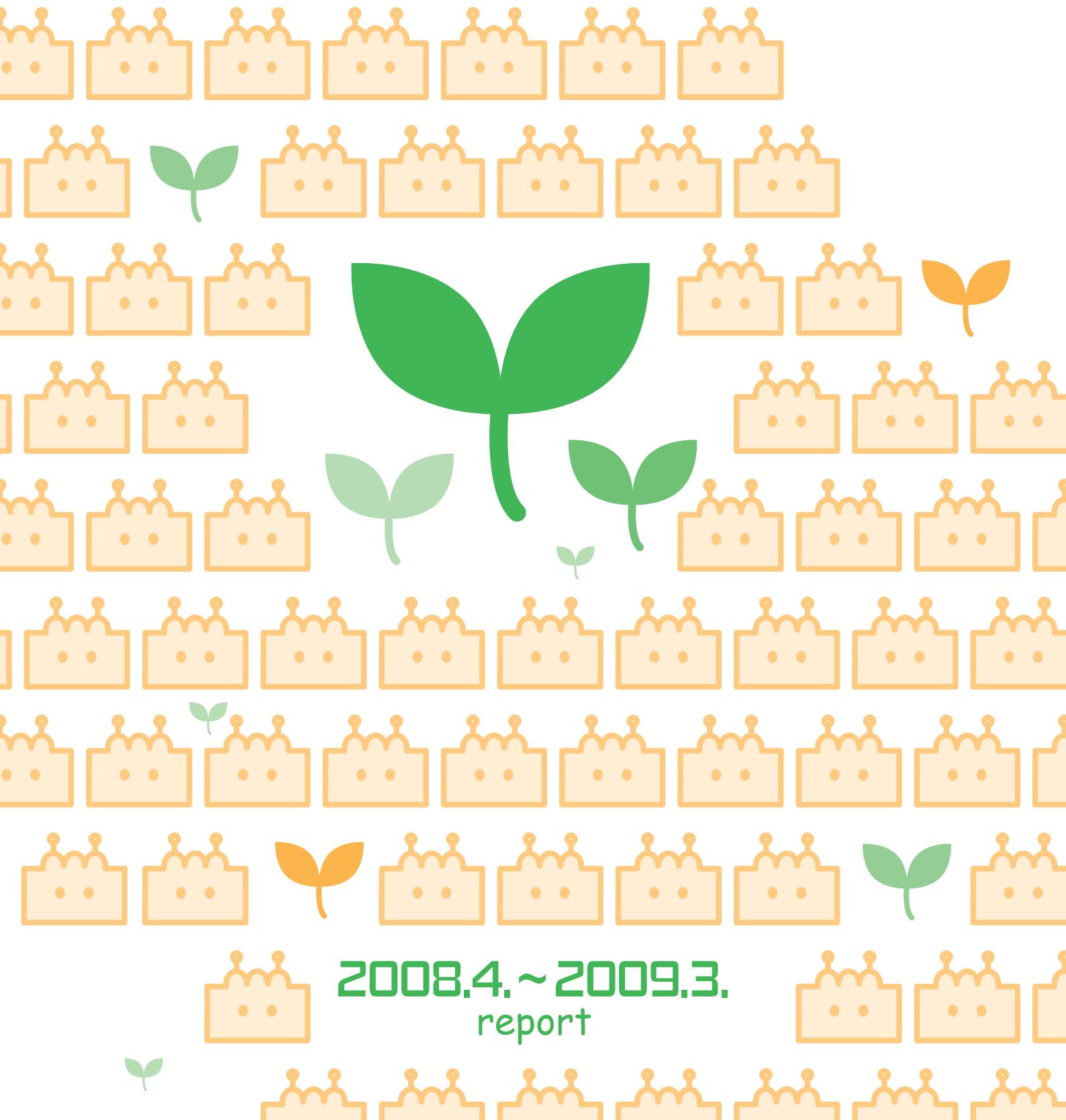


2008年4月～2009年3月

高知県ボランティア・NPOセンター 事業レポート～2008年度の取組み～

高知の元気応援します



2008.4.～2009.3.
report

2008年度事業を振り返って

市民活動団体の法人格取得への道が大きく開かれた特定非営利活動促進法（NPO法）の施行から、2008年12月で丸10年を迎えました。2009年3月末現在、全国で約37,000、高知県内で234の特定非営利活動法人（NPO法人）が誕生しています。NPO法人をはじめ、市民活動に関わる団体が次々に誕生し、各地域、各分野のあらゆる場面において、市民主体で自発的に地域や社会の問題解決行動を始めていることを考えると、まさに「市民活動飛躍の10年」だったといえるでしょう。

少子・高齢化や過疎化、経済情勢の悪化など、社会問題の多様化がすすむ高知県の将来を考えた場合、「自分達の地域や社会の問題をほっとけない！」という市民の想いが高まり、主体的な行動・実践がもっと増えていかないと、地域に根を張った活動は継続されません。そういう意味で、「ミッション志向」「市民参加・参画」を特徴とする市民活動の更なる成長と活躍が欠かせないとあらためて実感しています。

このようななか、高知県ボランティア・NPOセンターでは、多様な人や組織とともに、市民活動の活性化を図るための様々な支援事業を実施しました。

2008年度は、特に地域におけるネットワークづくりや具体的な実践の支援に力を注いだ年といえます。

主なものとして、南海地震等の大規模災害に備え、5市町における「災害ボランティアセンタ一体制づくり」の支援を行ったほか、四万十町における「NPO」と「行政」の対話の場づくりや協働事例の創出を支援。東部地域におけるNPOのネットワーク組織「高知県東部ボランティア・NPO交流会」の設立なども支援しました。

また、2008年度は、いくつかの事業の合理化を図る試みを行った年でもありました。「うちボランティアフェスティバル」と「ボランティアガイダンス」を同時開催し、ボランティア・市民活動の魅力や必要性を伝えるとともに、具体的な活動先にマッチングするイベントとしました。また、「うちNPOフォーラム」と「地域づくり仕掛け人市」を合同開催し、NPO関係者や関心のある人たちが集い、多くの活動実践を共有し、コラボレーションの機会づくりの場としました。

そのほか、高知県より2008年度から「NPO法人設立支援等業務」を受託。新たに設立するNPO法人全ての相談に対応するようになり、設立から経営・実務の支援を行うことになっています。

2009年度は、本センター開設10周年を迎えます。今後も、市民活動のチカラが高まるよう、様々な人や組織の間に立つ「つなぎ役」として、組織の設立・経営や様々な取組みを支える「サポート役」として、活動の魅力と必要性を発信する「旗振り役」としての役割を果たせるよう、パワーアップしていくければと考えています。

引き続き、センターの運営及び事業に、多くの方々のご協力とご参画をいただきますよう、よろしくお願ひいたします。

高知県ボランティア・NPOセンター
所長 半田雅典

もくじ

1. NPO支援事業の実施	-----	1
(1) NPOの普及啓発	-----	1
① NPO基礎講座の開催	-----	1
② 「市民活動の魅力」を伝える情報発信の仕組みの検討	-----	1
(2) NPOの活動基盤強化	-----	1
① こうちNPOフォーラム2008（「地域づくり仕掛け人市」合同）の開催	-----	2
② NPO経営塾の開催	-----	4
③ NPO実務講座の開催	-----	5
④ NPO実務相談の実施	-----	6
⑤ NPOの情報発信力支援プロジェクトの実施	-----	6
⑥ こうちボランティア・NPO支援基金の運用	-----	6
⑦ 助成金情報等の提供	-----	9
⑧ NPO会議室の貸出し	-----	9
⑨ NPOに関する相談対応	-----	9
(3) NPOのネットワーキング支援	-----	10
① 高知県東部地域におけるNPOネットワークの推進	-----	10
② NPO支援組織のネットワークの構築	-----	11
(4) 他セクターとの協働の推進	-----	11
① 四万十町におけるNPOと行政の協働推進の支援	-----	11
② 企業市民セミナーの開催	-----	12
③ 企業・NPO資源循環システムの運用	-----	13
④ 企業・NPOパートナーシップ情報の発行	-----	13
⑤ 協働プラットホーム的支援の実施	-----	14
2. ボランティア活動推進事業の実施	-----	15
(1) ボランティア活動の啓発と参加支援	-----	15
① こうちボランティアフェスティバル2008の開催	-----	15
② こうちボランティア・NPO通信「てをつなごう」の発行	-----	18
③ ピッピネット[こうちボランティア・NPO情報システム]の運用	-----	19
④ ピッピネット啓発用オリジナルグッズの販売	-----	20
⑤ ボランティア募集情報サービスの提供	-----	20
⑥ 相談対応	-----	20
(2) ボランティアコーディネーション機能の向上	-----	20
① ボランティア受け入れのための実践講座の開催	-----	20
② 地域のボランティアコーディネーション機能強化事業（助成事業）の実施	-----	21
(3) 災害ボランティア活動の支援基盤の整備	-----	22
① 市町村単位での「災害ボランティアセンタ一体制づくり推進事業」（助成事業）の実施	-----	22
② 県域での「災害ボランティア活動支援本部」の設置・運営に向けた体制づくり	-----	23
③ 災害ボランティアセンター立上げのための実践講座の開催	-----	23
④ 災害ボランティアコーディネーター実践講座の開催	-----	24

(4) 福祉教育・ボランティア学習の推進 -----	27
① 福祉教育・ボランティア学習プログラムづくり研修会の開催 -----	27
② 地域連携による福祉教育・ボランティア学習ステップアップ事業（助成事業）の実施 -----	27
3. 各団体の事業への協力 -----	29
① 学習会等への講師派遣 -----	29
② 委員会等への派遣 -----	30
4. 運営委員会の開催 -----	31
運営委員会の体制 -----	31
① 全体会の開催 -----	31
② 幹事会の開催 -----	32
③ 開設10周年記念誌編集委員会の開催 -----	33
高知県ボランティア・N P Oセンター運営委員会委員名簿 -----	34
アドバイザー -----	34
事務局職員名簿 -----	34

1. NPO支援事業の実施

NPOの活動基盤の強化を図るための各種支援システムの運用や学習会の開催、情報提供等を行ったほか、NPOのネットワーキング支援、NPOと他セクターとの協働の推進に関する各種事業を実施しました。

(1) NPOの普及啓発

NPO基礎講座を開催したほか、各地域や各団体が主催するNPO関連の学習会への協力（事務局スタッフの講師派遣等）を行いました。

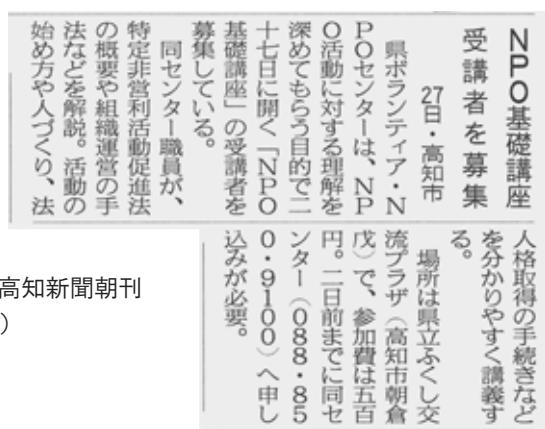
また、NPOガイドブック等各種NPO関連資料をあらゆる場で随時配布するなど、NPOの普及啓発に努めました。

①NPO基礎講座の開催

NPOやNPO法の概要、組織運営にあたっての必要な基礎知識を学べる場として、「NPO基礎講座」を開催しました。

開催日時／会場	主な内容	参加者数
2008年5月27日(火) 18:30~20:40 県立ふくし交流プラザ 5F研修室B	○NPOとは ○特定非営利活動促進法の概要 ○NPOの組織運営の基礎	15名
2009年2月5日(木) 18:30~20:40 県立ふくし交流プラザ 5F研修室B		25名
2回開催		40名

[講師] 高知県ボランティア・NPOセンター 所長 半田 雅典



②「市民活動の魅力」を伝える情報発信の仕組みの検討

マスコミを活用し、広く一般市民に「市民活動の魅力」を伝えるための情報発信の仕組みづくりについて、県内のNPO支援組織のネットワークである「NPOサポートチーム」（2008年12月に正式に結成）で検討を行うとともに、高知新聞社とも情報交換を行いました。

(2) NPOの活動基盤強化

NPO経営塾を開校したほか、NPOの経営や実務、今後のあり方を学べる学習会等の開催、情報提供など、NPOの活動基盤強化に関する各種事業を実施しました。また「こうちボランティア・NPO支援基金」など、ヒトと資金をつなぐシステムの運用を行いました。

①こうちNPOフォーラム2008（「地域づくり仕掛け人市」合同）の開催

「NPOもっと知りたい、伝えたい」をテーマとし、「こうちNPOフォーラム2008」を開催しました。

このフォーラムは、NPO・市民活動に関わる方や関心のある方たちが、地域や立場の違い等を越えて参集し、NPO・市民活動の社会的役割を再確認し、組織や活動の課題解決を図ることを目的に開催しているものです。今回はNPOの課題の一つである情報発信に焦点をあて、想いを伝えるツボやマスコミと協働した情報発信の可能性について考えました。

また今年度は、多様な人たちがそれぞれの思いや企画、活動内容を伝え合い、語り合う「地域づくり仕掛け人市」を合同開催しました。NPOや地域づくり活動家など26名からのプレゼンテーションを受け、興味のあった人のもとに集まり、発表者を中心に“企画の市”をつくり、話を深めます。発表者同士も一緒に「市」をつくるなどし、新たな出会いやコラボレーションのきっかけづくりとなりました。

開催にあたっては、高知市市民活動サポートセンター、高知県西部N P O支援ネットワーク、環境活動支援センターえこらぼとの共同開催としました。さらにN P O関係者有志でつくる実行委員会（有元和哉委員長／実行委員数20名／9回開催）を結成し、フォーラムの企画を行いました。

【こうちNPOフォーラム2008実行委員会、高知市市民活動サポートセンター、特定非営利活動法人高知県西部NPO支援ネットワーク、環境活動支援センターえこらぼと共催】

[開催日時] [初日]2008年11月29日(土) 13:30~16:40

[2日目]2008年11月30日(日) 9:30~16:00

[会 場] 県立ふくし交流プラザ

内 容		一 般 参 加 者 数
初 日	○オープニングセレモニー 開会挨拶 こうちN P O フォーラム2008実行委員会 実行委員長 有元 和哉氏	64名
	○Y'sカフェトーク『想いが伝わる情報発信のツボ』 [ゲスト] 特定非営利活動法人黒潮実感センター （株）高知新聞社 コピーライター [マスター] 高知市市民活動サポートセンター	
	センター長理事 神田 優氏 社会部副部長 山岡 正史氏 池田あけみ氏 センター長 畠中 洋行氏	
	○交流会	
2 日 目	○オープニング演奏 [出演] 団塊バンド サイコ	67名
	○開会・オリエンテーション	
	○地域づくり仕掛け人市『思ってるだけじゃ、もったいない！！』	
	[テーマ市]：所定の部屋・スペースで、それぞれのテーマについて討論等	
	①「N P Oって何？」 高知県ボランティア・N P Oセンター 所長 半田 雅典	
	②「N P O経営塾分校～ミッションとビジョンをわかりやすく伝えるには～」 高知大学 人文学部 教授 / N P O経営塾 塾長 上田 健作氏	
	③「地縁組織とN P O～災害時要援護者支援をキーワードに相互連携を考える～」 特定非営利活動法人N P O高知市民会議 理事長 山崎水紀夫氏	
	[ゲスト]社会福祉法人津野町社会福祉協議会 事務局長 市川 千香氏	
	防災研 所長 中岡 久幸氏 特定非営利活動法人高知市身体障害者連合会 会長 中屋 圭二氏	

	[自由市] : 語り合い・情報交換等、自由に交流	
2 日 目	①旭マーチ	富山秋桜里氏
	②神母ノ木風鈴横丁実行委員会	有元 和哉氏
	③社会福祉法人高知県共同募金会	上村 雅志氏
	④特定非営利活動法人高知県西部NPO支援ネットワーク	八木 雅昭氏
	⑤特定非営利活動法人高知セラピー・ドッグ協会	由岐中詩織氏
	⑥特定非営利活動法人スポーツクラブスクラム	志々田沙也加氏
	⑦団塊バンド サイコ	新谷 英生氏
	⑧特定非営利活動法人とかの元気村	柳原 弘孝氏
	⑨「とさっ子タウン」実行委員会	吉森 伸郎氏
	⑩特定非営利活動法人仁淀川お宝探偵団	井上 将太氏
	⑪特定非営利活動法人日高わのわ会	生野 宣宏氏
	⑫「冬の夏祭り」実行委員会	安岡 千春氏
	⑬森の巣箱	間城 紋江氏
	⑭特定非営利活動法人YASU海の駅クラブ	大崎 登氏
	⑮湯~モア会議	井土 晴喜氏
	⑯特定非営利活動法人要約筆記高知・やまもも	梶原 希美氏
	⑰特定非営利活動法人いほく活性化機構	松村 滋子氏
	⑱こうち暮らしの楽校	柿本 英児氏
	⑲高知県ボランティア・NPOセンター	松田 高政氏
	⑳絵金蔵運営委員会	宮川 哲
	㉑特定非営利活動法人高知県自閉症協会	浜田 義隆氏
	㉒特定非営利活動法人たびびと	田村 孝子氏
	○全体会	濱田眞理子氏
	[進行役] こうちNPOフォーラム2008実行委員会	実行委員長 有元 和哉氏

[一般参加者実人数] 109名

2008年11月30日付高知新聞朝刊
(高知新聞社提供)



カフェスタイルでのリラックスした雰囲気が好評だった
「Y'sカフェトーク」

視点や切り口重要

NPO（民間非営利団体）の活動の可能性を探る「こうちNPOフォーラム2008」が二十九日から高知市流プラザで始まり、初日は県内のNPO代表やライターらが「想いや伝わる情報発信のツボ」と題してトーク会を開いた。NPOや行政関係者など約百人が参加。ステージ上にカフェのカーテンを広げた。

「島が丸」と博物館をテーマに活動するNPO法人黒潮実感センター理事の神田優さんは「マスメディアに載

て、地域活性化などを取り組む約三十団体の代表が、それぞれの取り組みを発表。来場者は「面白がらせる工夫を伝授した。(浜田佳奈)

会場への質問では、

つても面白いことやつてゐるね」で終わる。最後は人対人のコミュニケーションと強調。手がけるコピーライターの池田あけみさんは、「南国市には、思いを言葉で伝えるためには、三十日は、地域づくりで、地域活性化などを取り組む約三十団体の代表が、それぞれの取り組みを発表。来場者は「面白がらせる工夫をと自由に交流する。(浜田佳奈)

して、約五割が目前の会員を増やすには、最も効果がある手段として新聞や広報誌を発行している。最も効果がある手段として新聞や広報誌などを手がけるコピーライターを選びます。が正確に伝わっていなければ、誤解されてしまうことがある」との指摘も上がった。

レポートや会場から「本質が得られる」という声があがった。

後は人対人のコミュニケーションと強調。手がけるコピーライターの池田あけみさんは、「南国市には、思いを言葉で伝えるためには、三十日は、地域づくりで、地域活性化などを取り組む約三十団体の代表が、それぞれの取り組みを発表。来場者は「面白がらせる工夫をと自由に交流する。(浜田佳奈)

②NPO経営塾の開催

NPOが、経営するチカラを高めていくことが求められているなか、NPOからの具体的な事例提供とともに、「NPOの経営のあり方」を研究・学習し、今後のNPOの経営力強化につなげるとともに、モデル的なNPO経営の事例を創出することを目的として、「NPO経営塾」を年間を通じて8回開校しました。

内容については、昨年度の経営塾参加者の中から選抜したメンバーで企画会議を行い、検討しました。

開催日時／会場	主な内容	参加者数
2008年6月18日(水) 18:30~20:10 高知市市民活動サポート センター会議室	○講義「米国NPOの経営実態」 [講師] 高知大学 人文学部教授 上田 健作氏	15団体 22名
2008年7月16日(水) 18:30~20:40 高知市市民活動サポート センター会議室	○事例提供「環境の杜こうちの経営の現状と課題」 ○研究・討論「経営課題の解決に向けた研究・討論」 [事例提供者] 特定非営利活動法人環境の杜こうち 理事長 石川 妙子氏 事務局長 兼松 方彦氏	10団体 17名
2008年8月20日(水) 18:30~20:40 高知市市民活動サポート センター会議室	○事例提供「とかの元気村の経営の現状と課題」 ○研究・討論「経営課題の解決に向けた研究・討論」 [事例提供者] 特定非営利活動法人とかの元気村 理事・事務局長 吉森 伸郎氏	11団体 17名
2008年9月17日(水) 18:30~20:40 高知市市民活動サポート センター会議室	○事例提供「絵金蔵運営委員会の経営の現状と課題」 ○研究・討論「経営課題の解決に向けた研究・討論」 [事例提供者] 絵金蔵運営委員会 会長 浜田 義隆氏	13団体 22名
2008年10月15日(水) 18:30~20:10 高知市市民活動サポート センター会議室	○講義「助成申請の『コツ』を学ぶ」 [講師] 高知大学 人文学部教授 上田 健作氏	10団体 19名
2008年11月19日(水) 18:30~20:40 高知市市民活動サポート センター会議室	○事例提供「日高わのわ会の経営の現状と課題」 ○研究・討論「経営課題の解決に向けた研究・討論」 [事例提供者] 特定非営利活動法人日高わのわ会 理事・収益部長 安岡 千春氏	9団体 18名
2009年1月21日(水) 18:30~20:40 高知市市民活動サポート センター会議室	○事例提供「ももたろう企画の経営の現状と課題」 ○研究・討論「経営課題の解決に向けた研究・討論」 [事例提供者] 特定非営利活動法人ももたろう企画 理事長 宮本 典晃氏	12団体 20名
2009年2月18日(水) 18:30~20:40 高知市市民活動サポート センター会議室	○事例提供「高知SGG善意通訳クラブの経営の現状と課題」 ○研究・討論「経営課題の解決に向けた研究・討論」 [事例提供者] 高知SGG善意通訳クラブ 事務局長 漆原 佳代氏 役員 木下くみ子氏 ○次年度のNPO経営塾に関する意見交換	10団体 18名
8回開催		153名



事例提供団体の経営陣の立場となって、
課題の解決策を出し合う

NPO経営塾企画会議メンバー名簿

(2008年度は1回開催)

団体名	役職名	氏名
高知大学	人文学部教授	上田 健作
特定非営利活動法人YASU海の駅クラブ	事務局長	安芸 誠一
特定非営利活動法人ごめん・なはり線を支援する会	事務局	浜口 勝洋
特定非営利活動法人NPO高知市民会議	チーフ	西村 正江
絵金蔵運営委員会	会長	浜田 義隆
高知県文化環境部県民生活・男女共同参画課	主任	松本 英雄
高知県ボランティア・NPOセンター	所長	半田 雅典
	チーフ	宮川 哲
	主事	岡本 真友美

③NPO実務講座の開催

特定非営利活動法人などNPOが運営していく中で必要な会計、税務、労務、法務についての基本的な知識を学び、組織運営に役立てていただくことを目的として、「NPO実務講座」を開催しました。

開催日時／会場	主な内容	参加者数
2008年6月21日(土) 9:00～16:00 県立ふくし交流プラザ 5F研修室B	【会計初級編】 簿記の基礎知識、取引から会計処理の方法、試算表、決算書類の作成 【講師】 岡田会計事務所 岡田 康彦氏	10団体 14名
2008年6月28日(土) 9:00～15:00 県立ふくし交流プラザ 5F研修室C	【税務編】 (AM) 法人税、源泉徴収等の基礎知識 (PM) 具体的な個別事例の質疑応答・意見交換 【講師】 岡田会計事務所 岡田 康彦氏	10団体 15名
2008年7月12日(土) 9:00～15:00 県立ふくし交流プラザ 5F研修室B	【労務編】 (AM) 労働法、雇用契約、賃金、社会保険、労働保険の基礎知識 (PM) 具体的な個別事例の質疑応答・意見交換 【講師】 社会保険労務士 竹内 隆志氏	6団体 7名

2008年7月26日(土) 9:00~12:00 県立ふくし交流プラザ 5F研修室B	【法務編】 法人登記、総会開催、議事録作成等の基礎知識、 具体的な個別事例の質疑応答・意見交換 【講師】司法書士 土居 雅之氏	5団体 6名
4回開催		42名

④NPO実務相談の実施

NPOの実務に関する具体的な相談に税理士等が個別に応じる「NPO実務相談」を実施しました。

〔相談対応者〕

○会計・税務相談

岡田会計事務所 岡田 康彦氏

実施日時／会場	利用団体数
	会計・税務相談
2008年4月26日(土) 9:00~17:00 県立ふくし交流プラザ 4F会議室	8団体
2008年5月24日(土) 9:00~14:00 県立ふくし交流プラザ 4F会議室	4団体
2009年1月24日(土) 14:00~15:00 県立ふくし交流プラザ 4F会議室	1団体
2009年3月14日(土) 9:00~15:00 県立ふくし交流プラザ 小会議室	5団体
4回実施	18団体

⑤NPOの情報発信力支援プロジェクトの実施

近年、情報化・IT化がすすむなかで重要な情報ツールの一つとなっている「ホームページ」を介绍了、NPOの情報発信力の強化を目的に、NPOの「ホームページ」作成を学生が手助けするプロジェクトを、昨年度に引き続き実施しました。

実施にあたっては、ピッピネット（こうちボランティア・NPO情報システム）の運用に協力をいただいている高知大学総合情報センターの協力のもと、3団体の支援を行いました。

⑥こうちボランティア・NPO支援基金の運用

県民、企業等からの寄附金をNPOの資金確保につなげる「こうちボランティア・NPO支援基金」の運用を行いました。

隨時、寄附金を募集しているほか、郵便局自動振替を活用した小口寄附を促進、量販店等への募金箱の設置、バザーの実施など、あらゆる方法で寄附を促進しています。

2008年度は、この支援基金への寄附金を活用し、「持続性」をテーマに、第3回目の支援金交付団体を選考するための公開プレゼンテーション及び運営委員による審査会を行い、3団体に支援金を交付しました。

〔こうちボランティア・NPO支援基金の概要〕

運営主体	社会福祉法人高知県社会福祉協議会 ※同会内の高知県ボランティア・NPOセンターの事業として実施
資金源	県民、企業等からの寄附金

3つの側面	<p>(1) NPOへの資金面のサポートとして NPOは、組織運営や活動を実施するにあたっての「資金調達」が大きな課題です。支援基金は、皆様からいただいた寄附金を活用し、地域活動を行う団体に支援金を交付しています。</p> <p>(2) 県民や企業の皆様の地域貢献の場として 「地域や社会の役に立ちたい」と思っている県民や企業の皆様も多いと思います。支援基金は、皆様の地域貢献の一手法として、「寄附」の受け皿的な役割を果たしています。</p> <p>(3) NPOが相互に活動を高め合う機会として 支援金交付団体は、今後、NPOが目指すべき理想的な姿を毎年テーマ化し、各団体の実績や運営面での工夫を評価し、選考します。選考に至る過程で、公開プレゼンテーションを行うことにより、応募団体等が相互に活動を高め合う機会にもなっています。</p>
主な寄附の方法	<p>①郵便局による「自動振込み」の利用（年1,000円または500円） ②冠婚葬祭のお返し寄附 ③チャリティーバザーやコンペ等の収益の寄附 ④募金箱への寄附 ⑤県民、企業、団体等からの寄附など</p>



〔2008年度の寄附金の状況〕 621,885円（2005年度からの寄附金総額 3,888,668円）

〔5千円以上の寄附をいただいた方（順不同）〕

木下くみ子様（高知市）、依光香代子様（高知市）、高知県ボランティア・NPOセンター運営委員の皆様、こうちボランティアフェスティバル実行委員会様、NPO経営塾の皆様、匿名7名

「こうちボランティア・NPO支援基金」第3回公開プレゼンテーションの開催

支援基金への寄附金を活用した第3回目（2008年度）の支援金交付団体を決定するため、応募いただいた17団体による公開プレゼンテーションを開催しました。

公開プレゼンテーション終了後、運営委員（審査員）による選考を経て、支援金を交付する3団体を決定しています。

〔開催日時〕 2008年11月8日(土) 9:00～13:00

〔会 場〕 高知大学人文学部管理棟 5F 第1会議室

〔主な内容〕 応募団体による公開プレゼンテーション（17団体）

〔参加者数〕 41名

[2008年度支援金交付団体]

1. テーマ 「持続性」

2. 団体名

特定非営利活動法人たびびと

特定非営利活動法人高知県自閉症協会

絵金蔵運営委員会 以上3団体

3. 選考理由

組織と事業を「持続」させるための創意工夫をしてきたことと併せて、将来に向け「持続・成長」させていく展望を持っていること。

4. 支援金交付額

1団体あたり300,000円



支援金交付団体選考のためのプレゼンテーション

<p>非営利団体基金 助成希望を募集</p> <p>県NPOセンター 高知市朝倉戸の県ボランティア・NPOセンターは、県民や企業の寄付金で運営している「こうちボランティア・NPO支援基金」の支援金交付団体を募集している。締め切りは二十日。</p> <p>同基金は県内で活動するNPO（民間非営利団体）を資金面から</p>	<p>応援するため、平成七年三月に創設。資金調達の難しいNPOに、県内の個人や企業から募った寄付金を支給している。十八年度からの二年間で延べ二十五団体から応募があり、選考の上、毎年三団体に三十万円ずつ助成している。</p> <p>△将来に向けて、どのような展望を持つている。</p> <p>△回目の今回は、N</p>	<p>応援するため、平成七年三月に創設。資金調達の難しいNPOに、県内の個人や企業から募った寄付金を支給している。十八年度からの二年間で延べ二十五団体から応募があり、選考の上、毎年三団体に三十万円ずつ助成している。</p> <p>△将来に向けて、どのような展望を持つっている。</p> <p>△回目の今回は、N</p>	<p>△将来に向けて、どのような展望を持つっている。</p> <p>△回目の今回は、N</p>
<p>こうちNPO基金 3団体に各30万円</p> <p>県民や企業からの寄付金をボランティアや</p>	<p>県ボランティア・NPOセンター主催。三回目の今回は十七団体が応募し、同日の選考会でそれぞれの団体が活動の「持続性」をテーマにアピールした。</p> <p>審査の結果、視覚障害者に生活情報を届けたり、子どもに本を読み聞かせる活動などをしている「特定非営利活動法人・たびびと」と、「特定非営利活動法人・県自閉症協会」「絵金蔵運営委員会」が交付先に決まった。</p>	<p>△将来に向けて、どのような展望を持つっている。</p> <p>△回目の今回は、N</p>	<p>NPO団体に助成する「こうちボランティア・NPO支援基金」の助成先を決める選考会が八日、高知市曙町二丁目の高知大学で開かれ、三団体に各三十万円が交付されることが決まった。</p> <p>県ボランティア・NPOセンター主催。三回目の今回は十七団体が応募し、同日の選考会でそれぞれの団体が活動の「持続性」をテーマにアピールした。</p> <p>審査の結果、視覚障害者に生活情報を届けたり、子どもに本を読み聞かせる活動などをしている「特定非営利活動法人・たびびと」と、「特定非営利活動法人・県自閉症協会」「絵金蔵運営委員会」が交付先に決まった。</p>

2008年11月9日付高知新聞朝刊
(高知新聞社提供)

2008年10月3日付高知新聞朝刊
(高知新聞社提供)

こうちボランティア・NPO支援基金運営委員会委員名簿

(2008年度は1回開催)

[任期／2007年4月1日～2009年3月31日]

	団体名	役職名	氏名
委員長	高知工科大学	工学部教授	大谷英人
副委員長	特定非営利活動法人高知県西部NPO支援ネットワーク	副理事長	八木雅昭
委員	特定非営利活動法人NPO高知市民会議	チーフ	西村正江
	高知県経営者協会	事務局長	川村直哉
	(株)ゆうちょ銀行高知店	窓口サービス部長	大野美佳
	高知大学	人文学部教授	松永健二

⑦助成金情報等の提供

県内外の助成団体を募集している財団等の情報をまとめ、月1回程度、県内の希望するNPO等に情報発信をしました。また、企業や財団、独立行政法人等からNPOへの助成事業等の募集広報や推薦なども行いました。

【助成金情報発信件数】100件

⑧NPO会議室の貸出し

高知県社会福祉センター1Fに設置した「NPO会議室」の貸出しを行いました。

【NPO会議室の概要】

利用料／無料

利用時間／9：00～22：00（年末年始を除く）

利用可能人数／20名程度

申込方法／あらかじめ電話で予約後、指定様式の申込書により事前にFAX等で申し込み

受付時間／月曜日～金曜日 8：30～19：00 土曜日 8：30～17：30

【利用実績】

	利用団体数	利用人数		利用団体数	利用人数
4月	24団体	237名	10月	39団体	370名
5月	27団体	293名	11月	37団体	318名
6月	27団体	254名	12月	20団体	179名
7月	27団体	280名	1月	32団体	274名
8月	27団体	279名	2月	25団体	215名
9月	30団体	305名	3月	30団体	238名
合計 345団体 3,242名					

⑨NPOに関する相談対応

NPOの組織づくり、法人設立、組織運営や事業運営、団体紹介等の相談に応じるとともに、必要なサポートを行いました。また、活動を希望する市民へ各組織を紹介するなど、組織の活動内容に関する照会等への対応もたくさんありました。

2008年度のNPOに関する主な相談は次のとおりです。

なお、2008年4月から高知県庁から業務委託を受け、NPO法人化の検討にかかる相談から法人設立申請書類、その他運営にあたっての提出必要書類等を所轄庁（高知県文化環境部県民生活・男女共同参画課）へ提出するまでの支援を一体的に実施したことにより、法人関係の相談件数が伸びました。実施にあたっては、担当スタッフを配置し、対応しました。

1 法人設立に関する相談	198件
2 実務（会計・税務・労務等）に関する相談	138件
3 基礎知識（NPOとは？・NPO法の概要等）に関する相談	57件
4 事業（事業計画・運営・助成金制度等）に関する相談	52件
5 活動状況（県内のNPOの活動状況・団体照会等）に関する相談	32件

(3) NPOのネットワーキング支援

地域におけるNPO相互のネットワーキング支援を行いました。高知県東部地域のNPOネットワーク組織の立ち上げを支援したほか、NPO支援組織同士の連携も図りました。

①高知県東部地域におけるNPOネットワークの推進

高知県東部地域で活動するNPO間のネットワーキングの推進として、昨年度まで交流会の企画や、組織課題に関する研究、意見交換を行っていた「高知県東部地域NPO活動推進会議」のメンバーを中心とした、ネットワーク組織「高知県東部ボランティア・NPO交流会」の立ち上げの支援を行いました。

その後、同組織との共同で、「高知県東部ボランティア・NPO地域交流会」を北川村で開催しています。

高知県東部ボランティア・NPO地域交流会 in 北川の開催

〔開催日時〕 2009年2月11日(水) 11:00～15:30

〔会場〕 北川村・柏木交流センターほか

〔主な内容〕 第1部 『中岡慎太郎と田舎寿司を満喫』

第2部 『地域の宝をどう活かす！？—龍馬伝に向けて—』

○話題提供

「ゆずで元気な村づくり
～ゆずサンサングループ
の取組み～」
ゆずサンサングループ
副会長 西岡 和氏

○グループ討議

「地域の宝をどう活かす！？
—龍馬伝に向けて—」

〔参加者数〕 26名



ゆずサンサングループの話題提供をもとに交流会を開催

②NPO支援組織のネットワークの構築

高知県内でNPO支援に関わる組織のスタッフが集まり、情報交換を行うとともに、NPOの活動基盤の強化に向けた新たな仕組みづくりについて協議する「NPO支援スタッフ会議」を、「NPO支援組織ネットワーク会議」に改称し開催しました。2008年度は主として、マスコミを活用した「市民活動の魅力」を伝える情報発信の仕組みづくりについての協議を行いました。12月には、「NPOサポートチーム」として、正式にネットワーク組織を結成しています。

参加組織【高知県ボランティア・NPOセンター、特定非営利活動法人NPO高知市民会議、特定非営利活動法人高知県西部NPO支援ネットワーク、特定非営利活動法人環境の杜こうち、財団法人こうち男女共同参画社会づくり財団、財団法人高知県国際交流協会】

(2008年度は6回開催)

(4) 他セクターとの協働の推進

NPOと行政、NPOと企業の交流や連携をすすめるため、四万十町をモデル地域とした市町村とNPOとの先駆的な協働事例の創出支援を行ったほか、各種セミナーの開催、「企業・NPO資源循環システム」の運用を行いました。

①四万十町におけるNPOと行政の協働推進の支援

四万十町において、他の市町村への波及が期待できる「NPO」と「行政」が協働した事例の創出に向けた支援事業に3ヵ年計画で取組んでいます。

2年目となる2008年度は、前年度に協働のまちづくりを学習したNPO関係者と四万十町役場職員で「四万十町協働のまちづくり推進会議（通称「四万十町の10年後をつくる会」）を10回にわたり開催しました。

推進会議では、具体的に「農産品の集出荷体制の整備」、「観光客・移住者の受入れ体制の整備」、「子どもの居場所づくり」の3つをテーマにした分科会を設置し、それぞれNPO関係者と役場関係課職員により、協働で課題解決するための話し合いと一部事業の試行を中心に行いました。

2009年度は、協働可能な事業実践に移行するほか、新たな協働テーマを設ける予定になっています。

②企業市民セミナーの開催

企業の社会貢献活動やNPOとの連携のあり方を考える「企業市民セミナー」を開催しました。このセミナーは、企業の社会貢献担当者とNPOスタッフ等がともに学び合える機会として開催しています。

2008年度第1回は「企業の社会貢献ニーズとシーズを探る」をテーマに、企業が社会貢献活動を行ううえで、どのようなニーズとシーズがあるのか、また、それがNPOの行う活動とマッチングしたものになりうるのかを探りました。

また、第2回は「企業とNPO ニーズとシーズをマッチング！」をテーマに、企業とNPOそれぞれの「ニーズ」とモノ・アイデアなどの「シーズ」を出し合い、企業とNPO（もしくは企業と企業、NPOとNPO）のニーズとシーズのマッチングを行って、企業・NPOの社会貢献活動やビジネスチャンスの拡充を図る「企業・NPO モノ・コト・ヒト交流市」として開催しました。

なお、セミナーの企画は、企業・NPOパートナーシップ委員会で行い、同委員会と高知市市民活動サポートセンターとの共催としました。

【企業・NPOパートナーシップ委員会、高知市市民活動サポートセンターと共に】

開催日時／会場	主な内容	参加者数
2008年10月29日(木) 13:30~16:30 (株)高知銀行 片町研修会館	<p>○企業事例紹介「企業の社会貢献ニーズとシーズを探る」 [事例提供者] (株)相愛 環境取引事業部プロジェクトマネージャー 田岡真由美氏 宮地電機(株) 代表取締役副社長 宮地 貴嗣氏</p> <p>○ワークショップ&発表会 [コーディネーター] 一宮生コンクリート(株) 代表取締役社長 山崎 一寛氏</p> <p>○まとめ 高知大学 人文学部教授 上田 健作氏</p>	24名
2009年2月17日(火) 13:00~16:30 (株)四国銀行本店西別館 5F研修室	<p>「企業・NPO モノ・コト・ヒト交流市 ～企業とNPO ニーズとシーズをマッチング！～」 [コーディネーター] 一宮生コンクリート(株) 代表取締役社長 山崎 一寛氏</p> <p>○グループワーク（ニーズとシーズを出し合う）</p> <p>○プロポーズタイム（出されたニーズ、シーズをもとに、連携・協働できそうな企業・NPOを探す）</p> <p>○マッチングタイム（お互いのニーズとシーズが結びつく企業・NPOがグループに分かれて交流）</p>	26名
2回開催		50名



企業・NPOがそれぞれのニーズとシーズを出し合った
「モノ・コト・ヒト交流市」

③企業・NPO資源循環システムの運用

企業・団体の持つ物品等の資源をNPOの活動に役立てるための仲介を行うため、「企業・NPO資源循環システム」の運用を行いました。

なお、このシステムは、企業・NPOパートナーシップ委員会、高知市市民活動サポートセンターとの共同運用としています。

〔運用実績〕

提供企業	引渡し年月	提供資源	提供先NPO
株サンプラザ	2008年4月、 7月	パソコンラック 計3点	デイサービスあっぱれ、本山町社会福祉協議会 計2団体
福高知県社会 福祉協議会	2008年8月	折りたたみ机 計1点	さわやか津野 計1団体
四国銀行 従業員組合	2008年12月	タオルセット、食器セット 計73点	NPO啓発劇団「微熱ろくど・くぶ」、たびびと、全国K H J 親の会やいろ鳥、香美市社会福祉協議会 計4団体
総計 3社		77点	7団体

※その他企業からの支援・協力

株太陽…提供物品の保管用倉庫の無償貸与【通年】

④企業・NPOパートナーシップ情報の発行

企業の社会貢献活動や企業とNPOのパートナーシップの必要性を啓発するため、「企業・NPOパートナーシップ情報」を発行しました。この情報誌には、2008年度の企業市民セミナーの開催報告を掲載したほか、「企業・NPO資源循環システム」の運用報告等も掲載しました。

なお、この情報誌は、企業・NPOパートナーシップ委員会、高知市市民活動サポートセンターとの共同発行としています。

企業・NPOパートナーシップ委員会委員名簿

(2008年度は3回開催)

[任期／2007年4月1日～2009年3月31日]

	企 業 ・ 団 体 名	役 職 名	氏 名
委 員 長	(株)四国銀行	お客様サポート部調査役	門 田 芳 穂
副委員長	(株)土佐ガス	代表取締役社長	高 橋 浩 介
委 員	イオンモール高知	ゼネラルマネージャー	廣 岡 龍 彦
	一宮生コンクリート(株)	代表取締役社長	山 崎 一 寛
	(株)NTTドコモ四国支社高知支店	企画総務部長	池 田 浩 徳
	(株)高知銀行	営業統括部主任指導役 営業統括部公務法人室長	沖 定 久 吉 良 純 雄
	(株)高知スタンダード石油	代表取締役社長	手 嶋 邦 彦
	(株)サニーマート	商品部生鮮食品マネージャー	近 森 正 憲
	(株)相愛	環境取引事業部プロジェクトマネージャー	田 岡 真由美
	高知県経営者協会	総務課長	矢 野 正 子
	特定非営利活動法人高知NPO	理事長	吉 村 文 次
	特定非営利活動法人ごめん・なはり線を支援する会	事務局	浜 口 勝 洋
	特定非営利活動法人自立サポートセンターあきらめないで	副理事長	讃 井 侑 三
	高知大学	人文学部教授	上 田 健 作
	特定非営利活動法人NPO高知市民会議	理事	東 森 歩
	高知県ボランティア・NPOセンター	所長	半 田 雅 典

⑤協働プラットホーム的支援の実施

多様な人や組織が、目的や活動内容に応じてつながり合い、連携・協働が行える「協働プラットホーム」的支援の一環として、「NPO等による移動サービスの支援」と「高知でのチャイルドライン開設に向けた活動支援」を行いました。

NPO等による移動サービスの支援

障害のある人で移動に介助が必要な人や、過疎地の交通空白地域に住んでいる人など移動制約を受ける人たちの生活課題の解決に向けて、2003年度より、継続的に「NPO等による移動サービス」の支援を行っています。

2008年度は、移動サービスに関するNPOネットワーク「高知の移動サービスを考える会」と高知県庁関係課とともに、「高知の移動サービスに関する合同検討会」を開催したほか、高知の移動サービスを考える会が、大豊町役場や大豊町社会福祉協議会等と連携して実施した「大豊町移動手段に関するアンケート調査」に関わる一連の活動支援を行いました。

高知でのチャイルドライン開設に向けた活動支援

18歳までの子どもがかける子ども専用電話「チャイルドライン」がまだ高知に開設されていないため、この活動を推進する全国組織である特定非営利活動法人チャイルドライン支援センターの協力依頼を受け、高知でのチャイルドライン開設を目指した気運づくりの支援を行いました。

チャイルドライン支援センターと連携し、子どもの支援にかかる活動者や高知県関係各課とともに、県内の学校等へのチャイルドラインの周知を行ったほか、高知でのチャイルドライン開設に向けた啓発を行うために2009年1月に開催したフォーラムの運営を支援しました。

フォーラム後は、チャイルドライン開設に賛同した有志の方々による組織づくりの支援も行っています。

2. ボランティア活動推進事業の実施

ボランティア活動の必要性や魅力を啓発し、参加支援を行うとともに、地域のボランティアコーディネーション機能を高めるための取組みや地域と学校が連携した福祉教育・ボランティア学習を推進する取組みも行いました。また、南海地震等の大規模災害時に備えた災害ボランティアセンターの設置・運営に向けた体制づくりの支援を行いました。

(1) ボランティア活動の啓発と参加支援

ボランティア活動の必要性や魅力を啓発するためのイベントや情報発信を行いました。

①こうちボランティアフェスティバル2008の開催

「ここからつながる　ここから始まる」をテーマに、「こうちボランティアフェスティバル2008」を開催しました。

このフェスティバルは、ボランティア活動・市民活動の必要性や魅力を伝えるとともに、活動へのきっかけづくりを行うことを目的に、ステージプログラムのほか、多様な体験・交流・展示コーナーを実施するものです。

今年度は、ボランティア活動を希望する人と募集したい団体との「出会いの場」であるボランティアガイダンスを同時開催しました。これにより、活動の必要性や魅力を感じてもらうとともに、具体的な活動も探せるイベントとなりました。開催にあたっては、高知市市民活動サポートセンターと共に開催しました。

フェスティバルの企画・準備、当日運営については、例年同様広く募集し、10歳代から70歳代までの幅広い市民が実行委員となり、結成した実行委員会（吉田潤平実行委員長／実行委員47名／9回開催）により、ワークショップ等の手法を活用しながら創り上げました。

【こうちボランティアフェスティバル2008実行委員会、社会福祉法人高知県共同募金会と共に】

〔開催日時〕 2008年8月31日(日) 9：30～16：00

〔会　　場〕 県立ふくし交流プラザ全館

〔主な内容〕

オープニング セレモニー	○裕翔会・土佐翔太鼓 ○実行委員長挨拶　　こうちボランティアフェスティバル2008実行委員長　吉田　潤平氏
ボランティア ガイダンス	〔2F多目的ホール〕 9：40～12：00　　【高知市市民活動サポートセンターと共に】 ○ボランティア“はじめの一歩”講座　　特定非営利活動法人NPO高知市民会議　理事長　山崎水紀夫氏 ○ボランティアグループ・NPOからのプレゼンテーション ○団体のブースごとに個別面談 〔出展団体〕 20団体（ボランティアを募集する団体）
メイン会場 プログラム	○う～みコンサート ○認知症啓発劇「母は旅人」 〔出演者〕 NPO啓発劇団「微熱ろくど・くぶ」 ○アトラクション 「高知県沖縄三線愛好会」による沖縄三線演奏、「南風」によるエイサー踊り、「てんてこ舞」によるよさこい踊り、ボランティアウルトラクイズ

2. ボランティア活動推進事業の実施

ボランティア活動の必要性や魅力を啓発し、参加支援を行うとともに、地域のボランティアコーディネーション機能を高めるための取組みや地域と学校が連携した福祉教育・ボランティア学習を推進する取組みも行いました。また、南海地震等の大規模災害時に備えた災害ボランティアセンターの設置・運営に向けた体制づくりの支援を行いました。

(1) ボランティア活動の啓発と参加支援

ボランティア活動の必要性や魅力を啓発するためのイベントや情報発信を行いました。

①こうちボランティアフェスティバル2008の開催

「ここからつながる　ここから始まる」をテーマに、「こうちボランティアフェスティバル2008」を開催しました。

このフェスティバルは、ボランティア活動・市民活動の必要性や魅力を伝えるとともに、活動へのきっかけづくりを行うことを目的に、ステージプログラムのほか、多様な体験・交流・展示コーナーを実施するものです。

今年度は、ボランティア活動を希望する人と募集したい団体との「出会いの場」であるボランティアガイダンスを同時開催しました。これにより、活動の必要性や魅力を感じてもらうとともに、具体的な活動も探せるイベントとなりました。開催にあたっては、高知市市民活動サポートセンターと共に開催しました。

フェスティバルの企画・準備、当日運営については、例年同様広く募集し、10歳代から70歳代までの幅広い市民が実行委員となり、結成した実行委員会（吉田潤平実行委員長／実行委員47名／9回開催）により、ワークショップ等の手法を活用しながら創り上げました。

【こうちボランティアフェスティバル2008実行委員会、社会福祉法人高知県共同募金会と共に】

〔開催日時〕 2008年8月31日(日) 9：30～16：00

〔会 場〕 県立ふくし交流プラザ全館

〔主な内容〕

オープニング セレモニー	○裕翔会・土佐翔太鼓 ○実行委員長挨拶　　こうちボランティアフェスティバル2008実行委員長　吉田　潤平氏
ボランティア ガイダンス	〔2F多目的ホール〕 9：40～12：00　　【高知市市民活動サポートセンターと共に】 ○ボランティア“はじめの一歩”講座　　特定非営利活動法人NPO高知市民会議　理事長　山崎水紀夫氏 ○ボランティアグループ・NPOからのプレゼンテーション ○団体のブースごとに個別面談 〔出展団体〕 20団体（ボランティアを募集する団体）
メイン会場 プログラム	○う～みコンサート ○認知症啓発劇「母は旅人」 〔出演者〕 NPO啓発劇団「微熱ろく・くぶ」 ○アトラクション 「高知県沖縄三線愛好会」による沖縄三線演奏、「南風」によるエイサー踊り、「てんてこ舞」によるよさこい踊り、ボランティアウルトラクイズ

体験・啓発 相談コーナー	<p>【1F】ピッピちゃん通り（フリーマーケット）、いのちのボランティアコーナー、24時間テレビコーナー、スタンプラリー、骨髄バンクドナー登録会、ふれあいバザー</p> <p>【2F】アクティング・スペース、自転車で発電コーナー、防災コーナー、大変だ!!100人の村の環境が…、赤い羽根共同募金コーナー、ボランティア相談コーナー</p> <p>【3F】地産地消クッキング♪、健康チェックコーナー、ミニミニ保育園、ふれあい喫茶店、世界と土佐のボランティアクイズ！、ピッピちゃんイラストコーナー</p> <p>【4F】フレンドリードッグとフォトタイム！、車イス体験コーナー</p> <p>【5F】財高知放送エヌ・ピー・オー・高齢者支援基金デジタルテレビ贈呈式、貝殻アクセサリーに挑戦!!、楽しいロープ結び、森のいきものをつくろう、どんぐりで遊ぼう！、マイおはしをつくろう、Wonderful World、車椅子レクダンスコーナー、点字体験コーナー、手話体験コーナー</p>
-------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

〔参加者数〕 約1,300名

県ボランティア・NPOセンターは、八月二十四日に開く予定の「こうちボランティアフェスティバル2008」の企画・運営に携わる実行委員を募集している。同フェスティバルは、NPO活動の魅力や必要性を知ってもらおうと一九九七年にスタート。二〇〇〇年から実行委員を募っており、毎年五六十人の委員が集まるという。委員の顔触れは、高校生から七十代までと多彩。委員の半数程度が毎年入れ替わって企

集まれ実行委員

ボランティアセンターで募集

県NPOセンターで募集

画を支えており、四月から同センターの所長を務める半田雅典さんは、「新しい視点やアフターフェスティバル2008」の企画・運営に携わる実行委員を募集している。

アフターフェスティバル2008で募集する委員は、これまでに八回程度の実行委員会に参加してもらう。第一回は四月二十三日午後六時半から、高知市朝倉戊の県立ふくらまつ文化会館で開催される。申し込みは十八日までに同センター（088-850-9100、ファックス088-844-38052、メールkvn@pippikochi.or.jp）へ。

2008年4月5日付高知新聞朝刊
(高知新聞社提供)



実行委員会でテーマや企画について話し合う



点字を使った名刺づくりに挑戦



う～みさんを囲んでテーマソング
「笑顔であくしゅ」を熱唱



2008年9月1日付高知新聞朝刊
(高知新聞社提供)

患者を支援するボランティアに参加するのを固めていた。